

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 ビジネス・ワンホールディングス株式会社  
 コード番号 4827 URL <http://www.businessone-hd.co.jp>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 朝樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営戦略室長 (氏名) 和田 敏紀

TEL 092-534-7210

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,005	9.9	297	3.0	247	4.9	182	12.3
27年3月期第3四半期	3,645	46.1	289	71.1	235	74.3	162	51.8

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 183百万円 (12.3%) 27年3月期第3四半期 162百万円 (51.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	44.10	—
27年3月期第3四半期	39.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	8,406	1,225	14.6	295.47
27年3月期	6,444	1,053	16.3	253.85

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,225百万円 27年3月期 1,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	12.7	350	7.4	280	10.2	200	16.7	48.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	4,148,900 株	27年3月期	4,148,900 株
28年3月期3Q	0 株	27年3月期	0 株
28年3月期3Q	4,148,900 株	27年3月期3Q	4,148,900 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策による円安・株高の定着を背景に企業業績は緩やかな回復基調を維持しました。個人消費については昨年4月の消費税増税や日用品等の物価上昇の影響がみられ、消費支出は減少し、先行きの不透明な状況となりました。

また世界経済においては中国の景気減速、アメリカの金融正常化および原油価格の下落等が注目されており、基調の変化に留意すべき経済動向となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、収益構造の強化を目的とし、各事業部門の利益確保を意識した収益管理をより一層徹底し、グループ全体の業績向上を目指してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,005,619千円、（前年同期比9.9%増）、営業利益297,953千円（同3.0%増）、経常利益247,241千円（同4.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益182,958千円（同12.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①不動産事業

任売物件を含む買取物件再販事業、競売落札事業とともに、売上は前年同四半期を上回り、また第1四半期連結会計期間に計上されたマンションプロジェクトによる事業利益が業績を底支えいたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は2,724,775千円（前年同期比15.0%増）、セグメント利益220,767千円（同7.9%増）となりました。

#### ②マンション管理事業

分譲マンションを中心としたマンション管理事業を行っております。今後も企業基盤の強化を図り、抜本的なインフラの再構築をすすめるとともに、新しいマンション管理の受託を目指し企業基盤の強化を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間におけるマンション管理事業の売上高は843,328千円（前年同期比1.5%増）、セグメント損失5,883千円（前年同期はセグメント損失5,188千円）となりました。

#### ③賃貸事業

当社グループが保有する賃貸等不動産による賃料収入事業と、マンション管理物件の賃貸仲介事業など、グループの営業資産を基にシナジー効果を最大限発揮し、収益につなげる事業を拡大して行っております。また事業譲受等により一般管理物件の賃貸管理戸数も増加し、更なる基盤強化を図っております。

当第3四半期連結累計期間における賃貸事業の売上高は、賃貸等不動産の増加に伴い428,356千円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益115,340千円（同16.6%増）となりました。

#### ④ソフトウェア事業

パッケージソフト販売部門においては、既存パッケージソフトウェアのiPad版のリリースなど商品ラインナップの強化が推進されました。また顧客サービスを充実させるため、パッケージソフトウェアの操作指導（スクール）やサポートセンターによる既存ユーザーへの電話サポート、バージョンアップ案内等の保守関連にも注力しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高はマイクロソフト社のOS「WindowsXP」の保守終了に伴う企業のパソコン買替需要の終息の影響を受け104,449千円（前年同期比26.0%減）、セグメント利益2,628千円（同92.9%減）となりました。

#### ⑤ファイナンス事業

事業者向け不動産担保貸付を主として行っております。

当第3四半期連結累計期間は融資案件の増加により売上高は31,648千円（前年同期比134.9%増）、セグメント利益20,006千円（124.0%増）となりました。

#### ⑥その他の事業

子会社から計上される経営指導料及び事務委託手数料により、当第3四半期連結累計期間の売上高は166,875千円（前年同期比1.0%増）、セグメント損失51,968千円（前年同期はセグメント損失37,547千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,866,065千円となり、前連結会計年度末に比べ1,863,232千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が417,705千円、販売用不動産が144,408千円、仕掛販売用不動産が1,222,989千円、営業貸付金が81,700千円とそれぞれ増加したことによるものであります。固定資産は3,536,382千円となり、前連結会計年度末に比べ104,913千円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が60,848千円減少し、土地が184,610千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は8,406,494千円となり、前連結会計年度末に比べ1,961,568千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,853,953千円となり、前連結会計年度末に比べ1,537,444千円増加いたしました。これは主に短期借入金が1,530,668千円増加したことによるものであります。固定負債は3,326,670千円となり、前連結会計年度末に比べ251,431千円増加いたしました。これは主に長期借入金が496,438千円増加し、社債が250,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,180,624千円となり、前連結会計年度末に比べ1,788,876千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,225,869千円となり、前連結会計年度末に比べ172,692千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益182,958千円及び剰余金の配当10,372千円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は14.6%（前連結会計年度末は16.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月13日の「平成27年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	678,578	1,096,284
受取手形及び売掛金	114,109	98,215
販売用不動産	1,798,001	1,942,409
仕掛販売用不動産	—	1,222,989
商品及び製品	18,035	—
原材料及び貯蔵品	1,313	1,378
仮払金	34,312	26,820
営業貸付金	323,300	405,000
繰延税金資産	—	8,553
その他	51,181	68,912
貸倒引当金	△16,000	△4,498
流動資産合計	3,002,833	4,866,065
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	1,274,032	1,213,184
土地	1,968,272	2,152,883
その他	14,614	16,722
有形固定資産合計	3,256,920	3,382,790
<b>無形固定資産</b>		
のれん	124,209	97,914
その他	12,666	13,619
無形固定資産合計	136,875	111,533
<b>投資その他の資産</b>		
投資その他の資産	125,901	130,286
貸倒引当金	△88,228	△88,227
投資その他の資産合計	37,673	42,058
固定資産合計	3,431,469	3,536,382
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	10,622	4,045
繰延資産合計	10,622	4,045
資産合計	6,444,926	8,406,494
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	48,952	40,318
短期借入金	1,469,814	3,000,483
1年内償還予定の社債	120,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	370,150	387,290
未払法人税等	40,694	52,762
賞与引当金	16,000	16,500
その他	250,898	296,599
流動負債合計	2,316,508	3,853,953
<b>固定負債</b>		
社債	350,000	100,000
長期借入金	2,572,228	3,068,666
その他	153,011	158,004
固定負債合計	3,075,239	3,326,670
負債合計	5,391,748	7,180,624
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	436,034	436,034
利益剰余金	620,653	793,239
株主資本合計	1,056,687	1,229,273
その他の包括利益累計額		

繰延ヘッジ損益	△3,509	△3,403
その他の包括利益累計額合計	△3,509	△3,403
純資産合計	1,053,177	1,225,869
負債純資産合計	6,444,926	8,406,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	3,645,107	4,005,619
売上原価	2,803,502	3,108,023
売上総利益	841,605	897,596
販売費及び一般管理費	552,406	599,642
営業利益	289,199	297,953
営業外収益		
受取利息	88	80
受取配当金	44	44
受取保険金	2,152	780
助成金収入	1,800	3,600
消費税等調整額	4,938	709
還付加算金	—	4,544
貸倒引当金戻入額	—	16,000
その他	1,920	5,365
営業外収益合計	10,944	31,123
営業外費用		
支払利息	57,718	68,104
社債利息	2,139	3,141
その他	4,484	10,588
営業外費用合計	64,342	81,835
経常利益	235,800	247,241
特別利益		
固定資産売却益	2,966	622
特別利益合計	2,966	622
特別損失		
固定資産除却損	121	—
貸倒引当金繰入額	21,556	—
特別損失合計	21,678	—
税金等調整前四半期純利益	217,089	247,863
法人税、住民税及び事業税	54,136	73,458
法人税等調整額	—	△8,553
法人税等合計	54,136	64,905
四半期純利益	162,952	182,958
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,952	182,958

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
四半期純利益	162,952	182,958
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	105
その他の包括利益合計	—	105
四半期包括利益	162,952	183,064
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,952	183,064
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。